

メイクアップをきれいに仕上げるブラシテクニック

※色の選択は、人により合う色、合わない色があると思いますので、ご自分に合う色を選んで、ブラシテクニックを参考にしてください。

Takeda Brush Inc.
OnePoint Makeup Lesson

フェイスブラシ テクニック1.

肌にツヤが出て、お化粧くすれしない
フェイスブラシテクニック



綿パフを2枚用意します。ファンデーションを付けた後、1枚の綿パフにたっぷりパウダーを付け、もう1枚と合わせて揉み込むようにしながらパフの中に含ませ、押さえるようにしながらたっぷり肌にのせていきます。そのまま10秒くらいなじませ、**良質の毛を使用した竹田ブラシのフェイスブラシでやさしく余分な粉を払い落としていきます。**ツヤのある肌に仕上げるためには、その後フェイスブラシでせんで描くようにしながらファンデーションと粉をなじませます。キラキラと光るパールが入った粉なら、メイクアップの仕上げ時に使うと華やかな印象になります。

フェイスブラシ テクニック2.

和服やフォーマルドレス時に首や胸元を
美しく見せるテクニック



襟足や胸元が開き気味の装いなら、竹田ブラシのフェイスブラシを使ってパウダーを首や胸元につけると顔だけが浮いた感じになりません。フォーマルドレスならパールの入ったものが華やかできれいです。大きめのフェイスブラシでたっぷり付けましょう。

チークブラシ テクニック1.

若々しい素肌感覚を引き出す
チークカラーテクニック



チークカラーは、頬に自然な明るさと優しさが生まれ、若々しいイメージに演出できます。特に肌のくすみ気になるところからは、メイクアップの必需品的存在です。基本の位置は**頬骨の一番高い部分からこめかみにかけて楕円に自然に入れること。**顔をシャープに見せたいなら少し細めの楕円形に、やさしく可愛く見せたい場合は丸く入れましょう。ブラシテクニックの基本は、**色味が生きる竹田ブラシのチークブラシにたっぷりチークカラーを含ませ、手の甲で軽くトントンなじませ、ブラシを少し寝かしながら面の部分を使って描きます。**毛先だけで付けると上手に位置が決まりません。

チークブラシ テクニック2.

顔を立体的に仕上げ、小顔で明るく見せる
ハイライトテクニック



ハイライトは、顔全体に立体感を出し、顔が小さく見えるメリットがあります。下陰に入れればくみをカバーし、つややかな仕上がりになります。肌色より白めのパウダーを効果的に使いましょう。パール感のあるものは、華やかさと立体感が一層増してきます。基本の入れ方は**額、鼻筋、顎先のTゾーンと下陰のくすみやすい位置に、竹田ブラシならではのパウダーの含みの良いチークブラシにハイライトパウダーを含ませ、線を描くように入れていきましょう。**

コンシーラ用ブラシ テクニック

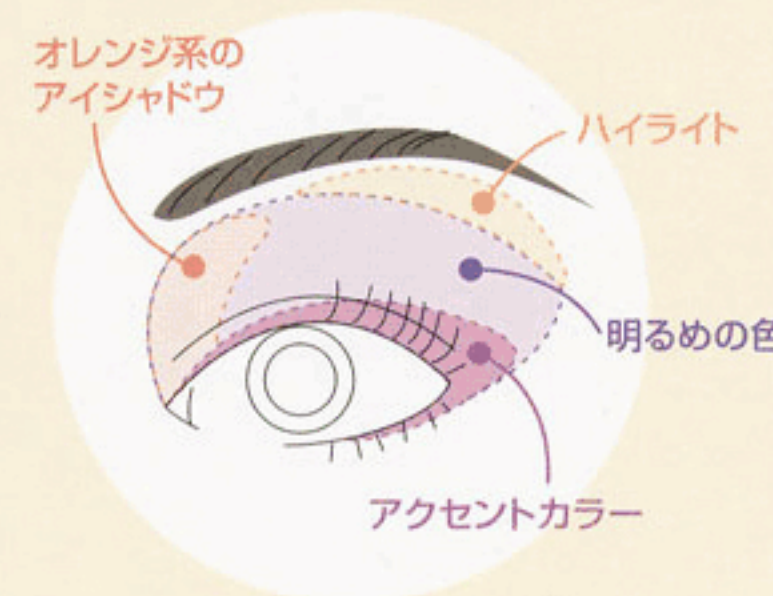
気になる部分を完璧にカバーする
テクニック



メイクアップをきれいに仕上げるためには、まず、肌を美しく見せることから始まります。気になるくすみやシミ、クマ、そばかすなどを目立たなくカバーするのが『コンシーラ』です。液状、練り状、スティック状などタイプは色々ありますが、ポイントは気になる部分に的確に塗ること。周囲に広がりすぎたり、ムラになったり、厚くなりすぎると上手にカバーできません。**コシのある細めで含みのいい竹田ブラシのブラシを使って確実に置いていきましょう。**その後、指先かスポンジで周りとなじませると、美しい素肌が生まれます。

アイシャドウ用ブラシ テクニック

究極のアイシャドウテクニック



アイシャドウを上手に付けるためには3本のブラシを準備しましょう。まず、**少しボリュームのあるブラシで、肌になじむ明るめの色を顔全体にフワッと付けます。**次にベーシックサイズのブラシで服装などに合わせたアクセントカラーを顔の中央から外側に少しははきり目に入れます。顔のくぼみの部分にはシャープに入れられるスクエア仕上げのブラシでオレンジやベージュ系のアイシャドウを、眉尻の下にはハイライトを入れます。竹田ブラシのアイシャドウ用ブラシなら顔をやさしく包むような自然なグラデーションを描くことができ、瞳の美しさが強調されるメイクに仕上がります。

アイライン用ブラシ テクニック

失敗しないアイライナーテクニック



どうしても上手にアイライナーが引けない!とあきらめている方に朗報です。竹田ブラシのラインブラシならアイライナーを上手に描くことができます。筆先がスッと細く、適度なコシがあるブラシで、どんなでもきれいなラインが失敗なく描けます。ポイントは、**上瞼を描くときには少し下を向いた状態で、下瞼なら上向きに。目頭から瞼の中央まで一気に描き、一呼吸置いて続きを描きます。**目尻の少し手前からスッと横に流すように描くときれいなラインに仕上がります。アイライナーの種類は液状の他にも、固形タイプや、水を含ませたブラシでアイシャドウの濃いめの色で描いてもきれいです。

アイブロウ用ブラシ テクニック

きれいな眉を上手に描くテクニック



眉は顔の額縁といわれるくらい重要な要素です。まず、位置を覚えましょう。**眉頭は目頭の延長線上か少し内よりに。眉尻は小鼻と目尻の延長線上が理想的。**カーブは眉頭から全体の2/3程度まで自然に上に向かってカーブを描き、それから自然に下に向かってカーブを。まず、眉の中に入ったファンデーションや粉をブラシで払い落とし、コシがあり、きれいなラインの描ける竹田ブラシのアイブロウブラシに固形の眉墨や焦げ茶、グレーなどのアイシャドウを付け、毛流に沿って自然に入れていきましょう。

リップ用ブラシ テクニック

食事をしても落ちたりにじんだりしない
口紅の塗り方とは



あなたは口紅をそのまま塗っていませんか? リップラインをはっきりと描けば落ちたりせず、いつまでも美しい状態に保てます。そのため、必ずリップブラシを使いましょう。リップブラシには毛を丸く束ねたラウンド型と平筆タイプがありますが、どちらでも好みのタイプをお使いください。穂先がスッと細くなり、一度で口紅を含む量が決まるリップブラシは竹田ブラシの究極の仕上げならではの。まず、**輪郭をはっきりと描き、その後中を塗ります。**輪郭を少し濃いめの色にして、中を明るめの色で仕上げると立体感のあるふっくらとした唇に仕上がります。